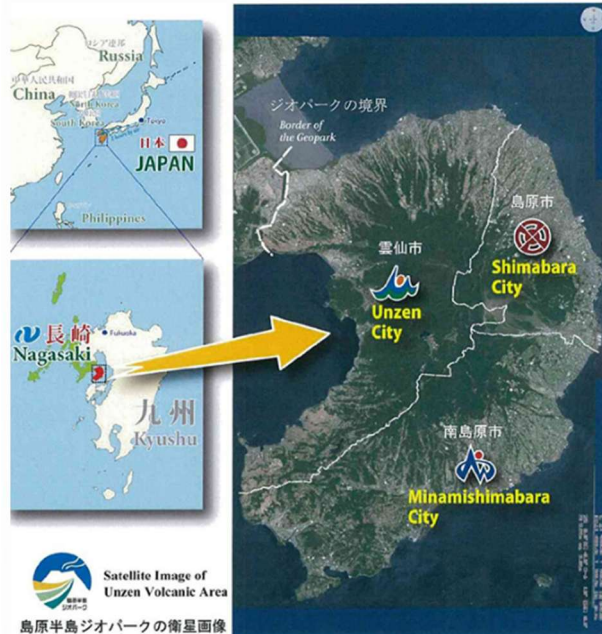


島原半島ユネスコ世界ジオパークについて（🔥 情報付随）

地域の情報： 島原半島ジオパークは日本の西端、九州の長崎県南部に位置しています。島原半島は3市（島原市、雲仙市、南島原市）の行政区域で構成されており、周りは海に囲まれ、中心には雲仙火山がそびえています。



島原半島の北西部は雲仙山系とそれに連なる穏やかな丘陵地帯、及び海岸沿いに広がる平野部からなります。東部は雲仙火山のすそ野が海に伸びた傾斜地、南部はゆるやかな地形となっています。

① **島原半島形成のメカニズム**： 島原半島がどのようにしてできたのか、その背景には地球規模のプレート運動と地殻の引っ張り合いがあります。

1. 九州が南北に引き裂かれる「別府-島原地溝帯」

九州の中央部（大分県の別府から、阿蘇を経て長崎県の島原半島に至るルート）は、「別府-島原地溝帯」と呼ばれる大きな溝状の地帯になっています。

九州の南部は、フィリピン海プレートの沈み込みや沖縄トラフの拡大に引きずられる形で、年間約1.4cmという速度で南へ移動しています。これにより、九州中部の大地は南北から引っ張られて引き裂かれつつあります。

2. 大地がズレ落ちる「正断層」と「地溝」の誕生

大地が南北に引っ張られると、東西方向に「ひび割れ」が生じます。このとき、斜めにひびが入り、引っ張られる力に耐えかねて片側が下にズレ落ちる正断層運動が発生します。

- 北側からは「千々石断層」が南に向かって落ち込みます。
- 南側からは「布津断層」などが北に向かって落ち込みます。
- このようにして、北側の断層と南側の断層に挟まれた島原半島の中央部（幅約5～8km）が常時沈み込む構造ができあがりました。これが「雲仙地溝」です。千々石断層の美しい円弧状の海岸線（橘湾）は、まさにこの沈み込みによって生まれました。

3. マグマの通り道と「雲仙火山」の成長

- 大地が引っ張られて陥没すると、地下深部の地殻が薄くなり、マグマが上昇しやすい「**マグマの通り道**」が形成されます。
- 本来であれば海の底へ沈んでしまうはずの陥没地帯（地溝）ですが、地下から次々とマグマが噴き出し、何万年にもわたって溶岩を積み上げ続けました。これが現在の雲仙岳（雲仙火山）です。

「断層による沈降」と「火山噴火による隆起・堆積」の絶妙なバランスによって、島原半島は現在の高くそびえ立つ形を維持しています。

ユネスコジオパーク島原半島 <https://geopark.jp/geopark/shimabara/>

- ② 島原半島の温泉  : 島原半島は、雲仙地溝帯という大地の裂け目から湧き出すマグマの恩恵を受け、半島内に特徴のまったく異なる3つの代表的な温泉地が存在します。

これらはすべて雲仙火山を震源とするマグマだまりを熱源としていますが、マグマからの距離や地下水との混ざり方によって、泉質や効能が劇的に変わるのがおもしろい特徴です。

1. 島原半島の3大温泉地とその特徴

島原半島の温泉は「山の中の酸性泉」「海沿いの強塩泉」「城下町の炭酸水素塩泉」と、バリエーションが非常に豊かです。

① 雲仙温泉（うんぜんおんせん）～山の中の濃厚な硫黄泉～

雲仙岳の標高約700mに位置する、活発な火山活動を間近に感じる温泉地です。「雲仙地獄」からは常に白い湯気と硫黄の香りが立ち込めています。

- ・ 泉質：酸性・含鉄・硫黄-アルミニウム-硫酸塩温泉（強い酸性）
- ・ お湯の特徴：白く濁ったお湯。殺菌効果が非常に高く、肌をピリッと刺激する温泉らしい湯ざわり。
- ・ 主な効能：湿疹、しもやけ、切り傷、慢性皮膚病、美肌効果。
- ・ メカニズム：マグマのガス成分が直接地下水に溶け込み、地表近くで強酸性の温泉（火山性温泉）となります。

② 小浜温泉（おばまおんせん）～海沿いの熱すぎる塩化物泉～

半島の西側、橘湾（断層で大きく陥没した海）に面した海岸沿いに湧く温泉地です。源泉温度が非常に高く、町中に湯けむりが立ち上っています。

- ・ 泉質：ナトリウム-塩化物泉（弱アルカリ性・高張性）
- ・ お湯の特徴：無色透明。源泉温度が105℃に達し、放熱量・温度ともに日本トップクラス。舐めるとしょっぱい。
- ・ 主な効能：神経痛、筋肉痛、冷え性、疲労回復（塩分が汗の蒸発を防ぐため、湯冷めしにくい）。
- ・ メカニズム：熱源は雲仙のマグマですが、橘湾の海水が地下深くで温められ、断層の割れ目を伝って一気に地表へ噴き出しています。

③ 島原温泉（しまばらおんせん）～城下町に湧く優しい炭酸水素塩泉～

半島の東側、島原城のふもとに位置する温泉地です。島原市は「水の都」とも呼ばれ、湧水が豊富な場所でもあります。

- ・ 泉質：マグネシウム・ナトリウム-炭酸水素塩温泉（中性）
- ・ お湯の特徴：無色透明でサラサラとした、肌に優しい非常にマイルドなお湯。
- ・ 主な効能：切り傷、慢性皮膚病、神経痛、美肌効果（クレンジング作用）。
- ・ メカニズム：火山からやや離れた場所にあるため、マグマの熱を受けつつも、島原の豊富な地下水（淡水）とじっくり混ざり合うことで、刺激の少ない優しい泉質になります。

2. 島原半島各地（雲仙岳付近、小浜地区及び島原城下のホテル除く）の温泉 :

- 1) みずほ温泉千年の湯 ￥500-、〒859-1206 雲仙市瑞穂町西郷辛 621-6
- 2) 遊学の館くにみ ￥300-、〒859-1303 雲仙市国見町神代丙
- 3) 島原市 有明福祉センター 美人の湯 ￥530-、〒859-1415 島原市有明町大三東戊 1 3 5 2-1
- 4) 布津福祉センター 湯楽里(ゆらり) ￥500-、〒859-2112 南島原市布津町乙 470
- 5) 須川温泉 須川観光ホテル(当面宿泊者のみ)、〒859-2212 南島原市西有家町須川 1100-38

(一泊2食付き¥7,200/人 と割安な料金設定です。)

- 6) 原城温泉 真砂 (まさご) ¥700-、〒859-2414 南島原市南有馬町丁 133
- 7) 口之津温泉 しらはま ¥??、〒859-2502 南島原市口之津町甲 2829-1 (2026 年閉館)
- 8) 加津佐温泉 希望の里 町外の住民は¥200-、〒859-2601 南島原市加津佐町己 3521 番地 2
- 9) おたっちゃん湯(脇浜温泉浴場) ¥400-、〒854-0513 雲仙市小浜町南本町 7

